

新たな学校生活が始まりました。子どもたちが規律ある学級の中でありのままの自分を表現することができ、笑顔に満ちあふれた学校生活を送ることができるように、本年度も学級づくりのための情報を提供していきます。また、学級づくりにはキャリア教育と重なる面が多くあります。そこで、2ヶ月に1回キャリア教育の視点での取組例も紹介していく予定です。ご愛読をお願いします。



<小学校>

目指す学級（ゴール）の設定と戦略

学級づくりをスタートさせるために、まずは目指す学級の姿を明らかにしておきましょう。

「どんな学級をつくりたいのか」「どんな子どもを育てたいのか」等をはっきりとイメージしておくことが大切です。ゴールが設定できたら、子どもや学級の実態を把握し、スタート地点を確認します。

◎ スタート地点を確認するために

⇒休み時間にできるだけ子どもと遊んだり給食の時間に対話をしたりして、子どもと共に過ごす時間を増やしましょう。

⇒様々な調査結果や家庭からの情報をもとに、子どもの実態を客観的に把握しましょう。

◎ 戦略を立てるために

⇒目に見える形で達成できるような行動目標を設定しましょう。

⇒年間の節目となる活動を決め、ゴールまでの道筋を構想しましょう。

自分たちでつくる係活動

新しい教室になり、学級の係活動も新しく決め直す時です。学級生活を心地よく送るために、どんな係活動が必要か、子どもたち自身に考えさせてみてはいかがでしょうか。

1 必要な係活動を考える場をつくる

「楽しい生活を送るにはどんな活動を考えていけばいいですか」、「係は、どんな係がいるの」と、考える場をつくりましょう。

2 決定に向けて考え合う場をつくる

問い返すだけでなく、みんなで考え合う場を保障します。「ここにこれがあるといい」、「整頓係って必要なの」「省エネ係はこういう仕事をもっとできる」等、皆でアイデアを出し合うことを大切にしましょう。

「必要とされる仕事」を「子ども自身が見いだす」こうした過程が主体的に動き出す学級づくりにつながります。

<中学校>

知ることが関係づくりの第一歩

4月初めに生徒、担任、保護者がお互いを知り、理解する場を意図的に設定することで関係性が深まります。

1 学級活動で・・・

「フルーツバスケット」等のエンカウンターを利用し、自己紹介を他者理解の場に行きたいですね。

2 プロフィールの掲示

教室内に「得意なこと」「好きなスポーツ」「嫌いな食べ物」など、一人一人のプロフィールを掲示してみてください。プロフィールを見ながら楽しい会話が生まれますよ。

3 学級PTAで・・・

第1回学級PTAでは、「他者紹介」をしたり、担任への質問コーナーを設けたりして、担任・保護者同士の関係づくりを促進することも、学級づくりの大きな力になります。

学級の柱となる学級目標づくり

学級の柱となっていく学級目標をつくることで、目指す学級づくりが共有化できます。学級目標づくりの一例を紹介します。

1 担任・副担任が方針を語る

学級づくりの基盤として自分が大切にしていることや願いを語る。だらだらと長く話さない。

2 すべての生徒の思いを徐々に集約する

- ① 学級への願いを紙に書く。大切なのは自由さ。書いたことは全て認められ他からは攻撃されないこと。（付箋を使うとよい）
- ② 書かれたものの共通点や相違点を考え、グループ化し、まとめる言葉を考える。付箋の場合は画用紙などにグループ別にはってまとめる。

3 みんなで一つの目標を決める

まとめられた言葉から、全員の願いを絞り込んでいく。こうしたプロセスが学級の柱としての目標になっていきます。